

11. 拡大ワークショップ

9月7日(土) 9:00～11:30
第6会場(瑞祥-高山グリーンホテル)

【拡大ワークショップ1】

明日から使えるカウンセリング！
～カウンセリングによるコミュニケーションスキルの向上～

座長：上荷 裕広 (すずらん調剤薬局)
岡本 まゆ美 (つつじが丘こどもクリニック)

小児科外来の医療従事者として患者さん親子との関わりはもちろん大切ですが、社会や家庭におけるさまざまな場面でコミュニケーションスキルは大切な能力です。これは持って生まれたものだけではなく、さまざまな経験を通して獲得されます。そこで当セミナーでは、カウンセリングを学ぶことからコミュニケーションスキルを向上し、より患者さんに寄り添った対応ができるようになることを目指します。講義だけではなく、体験も取り入れながら楽しく学んでいただけます。コミュニケーションが苦手という方もそうでない方も、知れば変わるカウンセリングスキルをぜひ！ご参加お待ちしております。

(推薦者：上荷 裕広〔薬剤師〕)

申し込み期間：2024年4月24日(水) 12:00～7月31日(水)
募集人数：40名(事前申し込み)
当日参加：残席あれば可(椅子のみ)
参加費：無料
募集対象：メディカルスタッフ

【拡大ワークショップ2】

小児診療初期対応（JPLS）を知って繋いで日々の診療をパワーアップ！
～小児外来診療は子どもの命の輪を繋げる最初の鎖～

座長：鈴木 研史 （竜美ヶ丘小児科）

JPLS とは？、初期対応の重要性

演者：種市 尋宙 （富山大学小児科）

小児評価（第一印象・一次評価）とは？

演者：加久 翔太朗 （clinic WIZ のぼりと・ゆうえん小児科）

小児看護の視点から

演者：野村 さちい （一般社団法人 つながる ひろがる 子どもの救急）

活用は院内外で（小児科診療所の視点から）

演者：鈴木 研史 （竜美ヶ丘小児科）

シミュレーションと胸骨圧迫・誤飲対応実技体験

演者：長屋 聡一郎 （岐阜大学附属病院）

小児科診療所の診療は、多くの軽症の児をみながら、重症度や緊急性の高い児を見逃さず、少しでも早くたどり着く必要があります。さらに、アナフィラキシーショックや呼吸不全、稀な心筋症や心肺蘇生にも対応する必要があります。JPLS は蘇生技術のみではなく初期評価と対応を中心とした日常の診療に活用できる私たちにうってつけのコースです。参加した多くの先生が「参加してよかった」「日常の診療の振り返りができた」と、アンケートで仰っています。私も感動して講師さらに委員にまでなりました。初期診療の重要性を知ってコースを少し体験していただく内容です。本コースには参加できない看護師も参加できます。この機会に一緒に勉強しましょう。

（推薦者：鈴木 研史）

■シミュレーションと胸骨圧迫・誤飲対応実技体験 事前募集

申し込み期間：2024 年 4 月 24 日（水）12:00～6 月 20 日（木）

募集人数：24 名（前半の聴講を含む）

当日参加：可（見学のみのみ）

参加費：無料

募集対象：医師・看護師